

身元調査（結婚）について

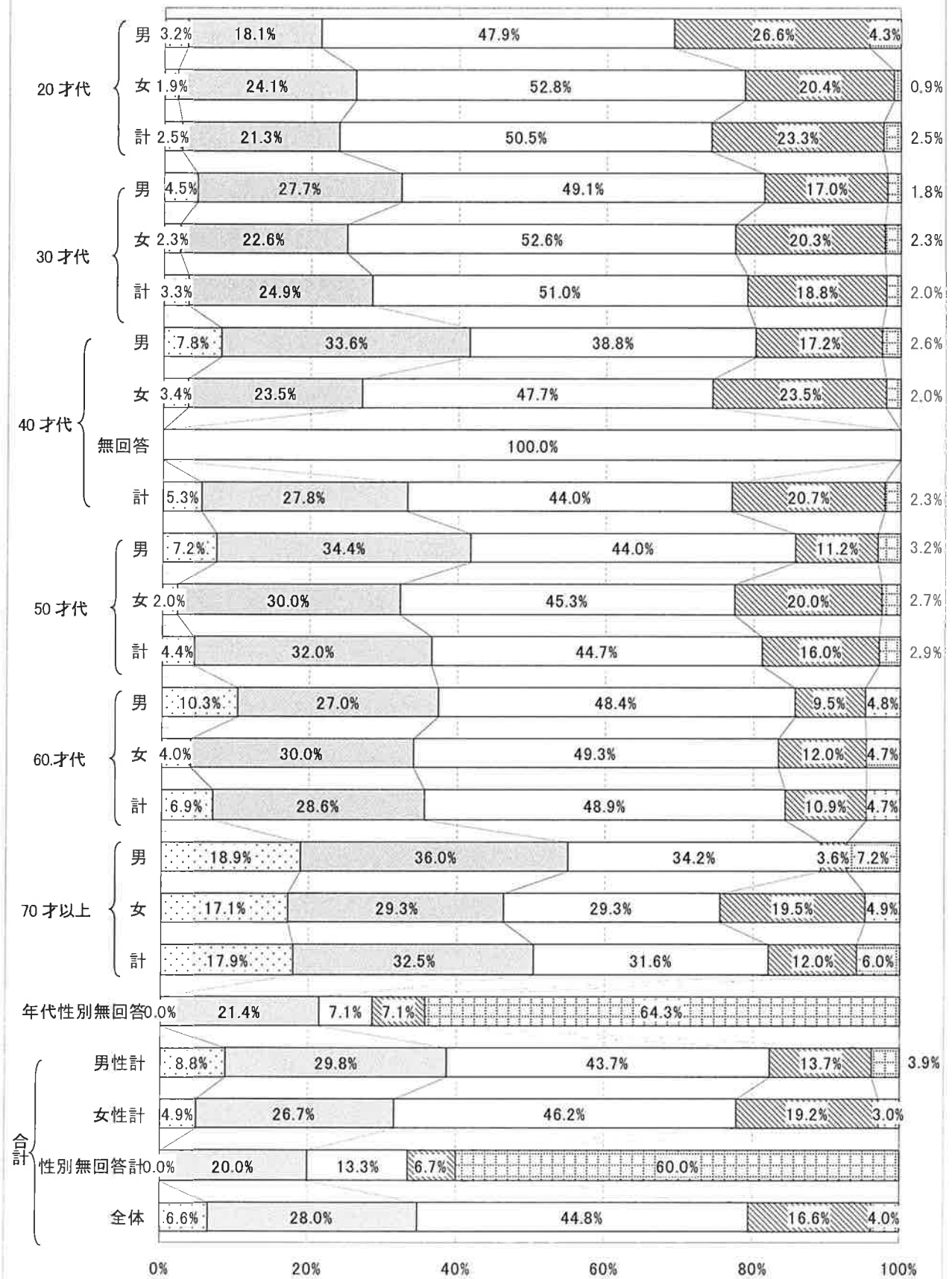
質問5-1 結婚のとき、家柄・財産、家族の仕事や地位などの身元調査することを、あなたは
どう思いますか。

- 1 当然である。
- 2 やむをえない。
- 3 すべきでない。
- 4 わからない。

結婚については家柄や血筋の「家」から、本人合意の「個人」を中心に据えた「一人ひとりの人柄」を重視する流れが定着しつつあるが、この質問では結婚のとき、本人あるいは親の立場で結婚相手の身元調査を行うことについて問うている。

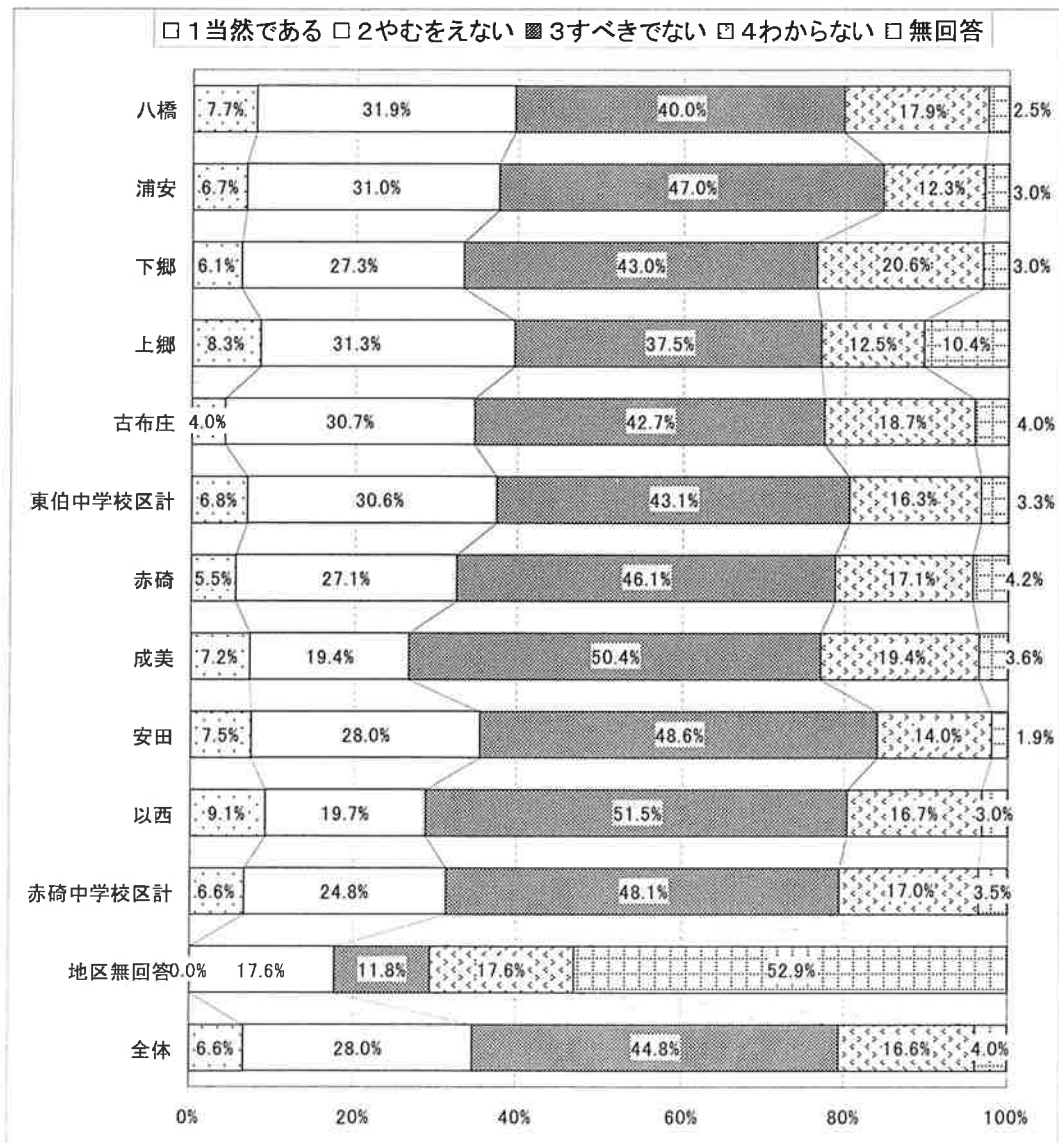
		1. 当然である		2. やむをえない		3. すべきでない		4. わからない		無回答		合計
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
20才代	男	3	3.2%	17	18.1%	45	47.9%	25	26.6%	4	4.3%	94
	女	2	1.9%	26	24.1%	57	52.8%	22	20.4%	1	0.9%	108
	計	5	2.5%	43	21.3%	102	50.5%	47	23.3%	5	2.5%	202
30才代	男	5	4.5%	31	27.7%	55	49.1%	19	17.0%	2	1.8%	112
	女	3	2.3%	30	22.6%	70	52.6%	27	20.3%	3	2.3%	133
	計	8	3.3%	61	24.9%	125	51.0%	46	18.8%	5	2.0%	245
40才代	男	9	7.8%	39	33.6%	45	38.8%	20	17.2%	3	2.6%	116
	女	5	3.4%	35	23.5%	71	47.7%	35	23.5%	3	2.0%	149
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
	計	14	5.3%	74	27.8%	117	44.0%	55	20.7%	6	2.3%	266
50才代	男	9	7.2%	43	34.4%	55	44.0%	14	11.2%	4	3.2%	125
	女	3	2.0%	45	30.0%	68	45.3%	30	20.0%	4	2.7%	150
	計	12	4.4%	88	32.0%	123	44.7%	44	16.0%	8	2.9%	275
60才代	男	13	10.3%	34	27.0%	61	48.4%	12	9.5%	6	4.8%	126
	女	6	4.0%	45	30.0%	74	49.3%	18	12.0%	7	4.7%	150
	計	19	6.9%	79	28.6%	135	48.9%	30	10.9%	13	4.7%	276
70才以上	男	21	18.9%	40	36.0%	38	34.2%	4	3.6%	8	7.2%	111
	女	21	17.1%	36	29.3%	36	29.3%	24	19.5%	6	4.9%	123
	計	42	17.9%	76	32.5%	74	31.6%	28	12.0%	14	6.0%	234
年代性別無回答		0	0.0%	3	21.4%	1	7.1%	1	7.1%	9	64.3%	14
合計	男性計	60	8.8%	204	29.8%	299	43.7%	94	13.7%	27	3.9%	684
	女性計	40	4.9%	217	26.7%	376	46.2%	156	19.2%	24	3.0%	813
	性別無回答計	0	0.0%	3	20.0%	2	13.3%	1	6.7%	9	60.0%	15
	合計	100	6.6%	424	28.0%	677	44.8%	251	16.6%	60	4.0%	1,512

□ 1.当然である □ 2.やむをえない □ 3.すべきでない ▨ 4.わからない □ 無回答



地区別

質問5-1	1当然である		2やむをえない		3すべきでない		4わからない		無回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
八橋	22	7.7%	91	31.9%	114	40.0%	51	17.9%	7	2.5%	285
浦安	20	6.7%	93	31.0%	141	47.0%	37	12.3%	9	3.0%	300
下郷	10	6.1%	45	27.3%	71	43.0%	34	20.6%	5	3.0%	165
上郷	4	8.3%	15	31.3%	18	37.5%	6	12.5%	5	10.4%	48
古布庄	3	4.0%	23	30.7%	32	42.7%	14	18.7%	3	4.0%	75
東伯中学校区計	59	6.8%	267	30.6%	376	43.1%	142	16.3%	29	3.3%	873
赤碕	17	5.5%	84	27.1%	143	46.1%	53	17.1%	13	4.2%	310
成美	10	7.2%	27	19.4%	70	50.4%	27	19.4%	5	3.6%	139
安田	8	7.5%	30	28.0%	52	48.6%	15	14.0%	2	1.9%	107
以西	6	9.1%	13	19.7%	34	51.5%	11	16.7%	2	3.0%	66
赤碕中学校区計	41	6.6%	154	24.8%	299	48.1%	106	17.0%	22	3.5%	622
地区無回答	0	0.0%	3	17.6%	2	11.8%	3	17.6%	9	52.9%	17
全体	100	6.6%	424	28.0%	677	44.8%	251	16.6%	60	4.0%	1,512



<分析>

- 全体では、「すべきでない」が最も高いが、44.8%と半数に満たない。
- 年代別でみると、20才代、30才代は、「すべきでない」が5割を若干超えているが、同和教育を受け、人権感覚が培われたと考えられる年代であっても、身元調査を否定する回答は約半数である。一方、「当然」と「やむをえない」の合計は、年代が高くなるほどその割合が高くなる傾向にあり、70才以上は50.4%である。
- 男女別でみると、「すべきでない」は、女性が46.2%で男性よりやや高く、「当然」と「やむをえない」の合計は、男性38.6%、女性31.6%で、男性の方が7ポイント高い。また「わからない」は女性が19.2%で男性より5.5ポイント高い。やや男性の方が身元調査を容認する傾向にあるといえる。
- 年代男女別でみると、「すべきでない」が最も低いのは、70才以上女性だが、他の年代ではすべて女性の割合が高い。特に、20才代、30才代、60才代の女性は約5割である。一方、「当然」は、すべての年代で男性の方が高く、「やむをえない」も20才代と60才代以外は男性の方が高い。「当然」と「やむをえない」の合計は、70才以上男性の54.9%が最も高く、70才以上女性の46.4%が続く。
また、40才代は男女差が顕著である。「すべきでない」は女性47.7%で、男性より8.9ポイント高い。逆に、「当然」と「やむをえない」の合計は男性41.4%、女性26.9%で、男性が14.5ポイント高い。「当然」と「やむをえない」の合計が「すべきでない」を上回るのは、70才以上男女と40才代男性である。
- 地区別でみると、「当然」と「やむをえない」を合わせた割合が高いのは、八橋地区と上郷地区の39.6%である。ただ、ほとんどの地区で「すべきでない」が上回り、特に成美地区、以西地区は「すべきでない」が5割以上である。

【質問5-1（身元調査〔結婚〕）と、質問2（自分の人権について）との関連】

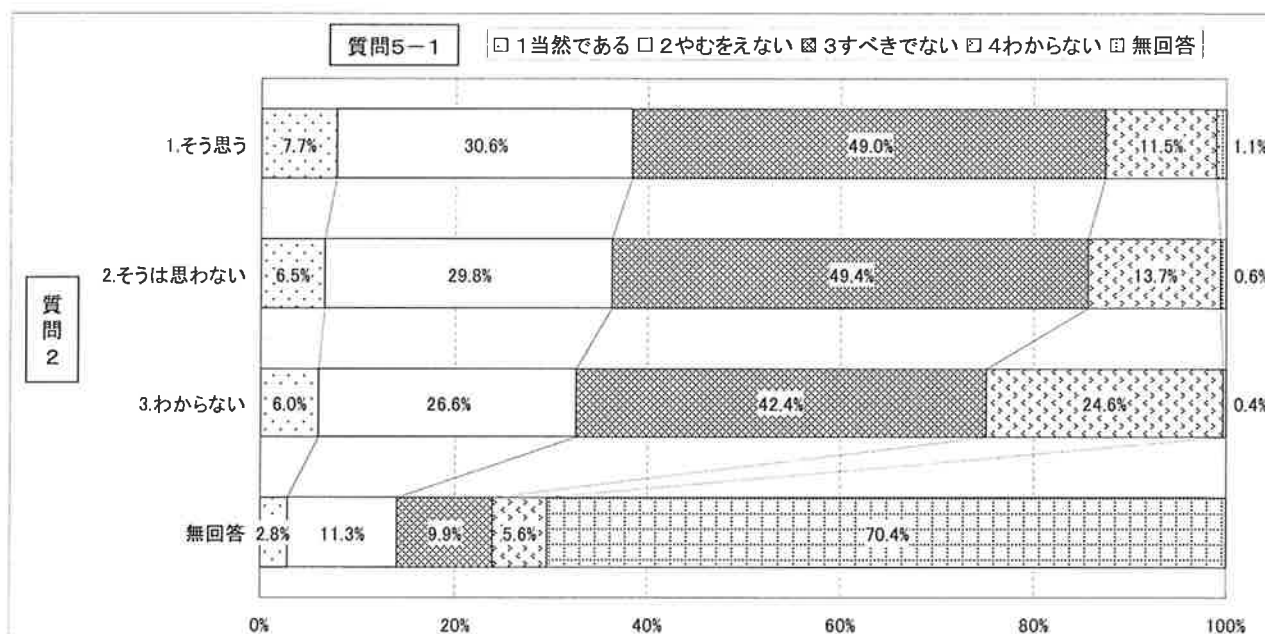
[質問2の内容]

あなたの人権は守られていると思いますか。

1. そう思う。 2. そうは思わない。 3. わからない。

このクロス集計では、身元調査の是非について、「自分の人権は守られているかどうか」の認識の違いによる意識や態度の傾向をみた。

質問2 \ 質問5-1	1 当然である		2 やむをえない		3 すべきでない		4 わからない		無回答		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
1. そう思う	43	7.7%	170	30.6%	272	49.0%	64	11.5%	6	1.1%	555
2. そうは思わない	21	6.5%	96	29.8%	159	49.4%	44	13.7%	2	0.6%	322
3. わからない	34	6.0%	150	26.6%	239	42.4%	139	24.6%	2	0.4%	564
無回答	2	2.8%	8	11.3%	7	9.9%	4	5.6%	50	70.4%	71
											1,512



<分析>

○ 『自分の人権は守られている』に対し、「そう思う」と答えた人も「そうは思わない」と答えた人も、約5割が身元調査は「すべきでない」としている。これは質問5-1の全体的傾向44.8%より若干高い。また、身元調査を「やむをえない」、「当然である」とする割合の合計は、「そう思う」が38.3%、「そうは思わない」が36.3%で、どちらも全体的傾向の34.6%より高くなっている。

このことは結婚等における身元調査が、人権侵害であるという認識が希薄であることの証左ではなかろうか。したがって、人権擁護という観点での社会啓発の推進が求められる。

【質問5-1（身元調査〔結婚〕）と、質問6-1（研修会等への参加回数）との関連】

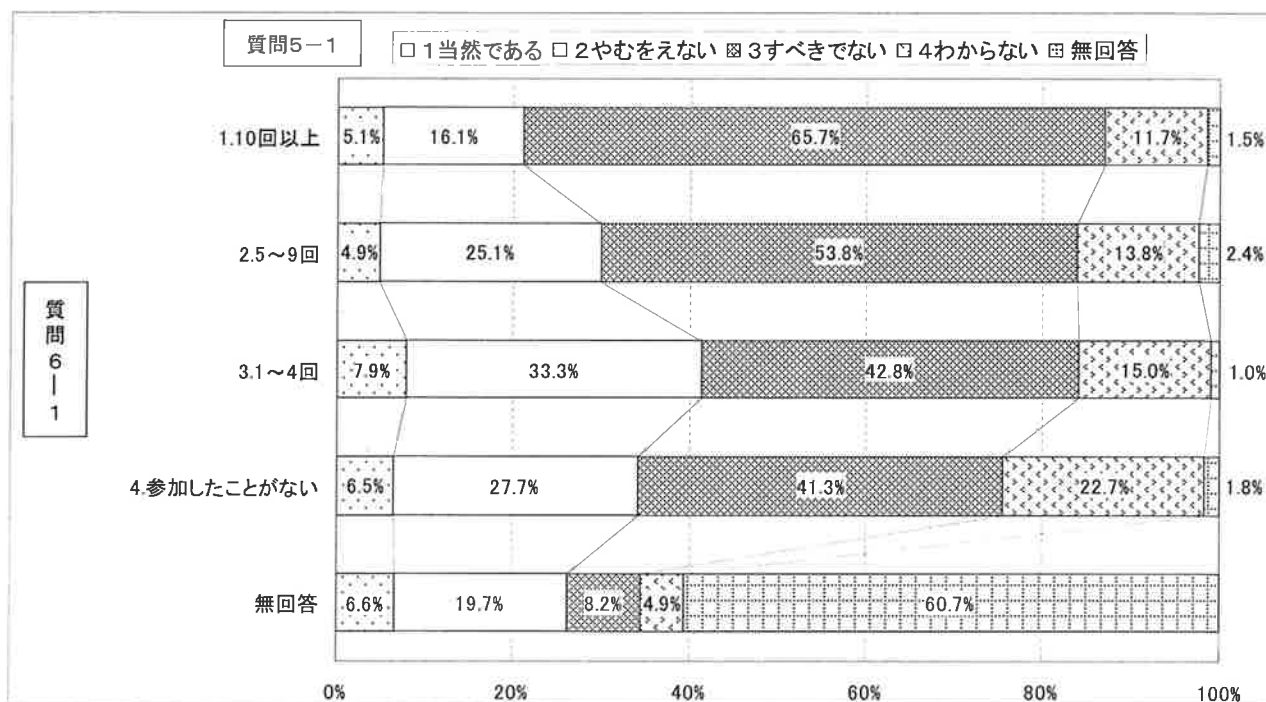
[質問6-1の内容]

あなたは過去5年間に、人権・同和教育の講演会や研修会に参加されたことがありますか。

- 1. 10回以上参加した。
- 2. 5～9回参加した。
- 3. 1～4回参加した。
- 4. 参加したことがない。

このクロス集計では、身元調査の是非について、研修会等への参加回数の違いによる意識や態度の変容をみた。

質問5-1 \ 質問6-1	1 当然である		2 やむをえない		3 すべきでない		4 わからない		無回答		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
1. 10回以上	7	5.1%	22	16.1%	90	65.7%	16	11.7%	2	1.5%	137
2. 5～9回	12	4.9%	62	25.1%	133	53.8%	34	13.8%	6	2.4%	247
3. 1～4回	45	7.9%	191	33.3%	245	42.8%	86	15.0%	6	1.0%	573
4. 参加したことがない	32	6.5%	137	27.7%	204	41.3%	112	22.7%	9	1.8%	494
無回答	4	6.6%	12	19.7%	5	8.2%	3	4.9%	37	60.7%	61
											1,512



<分析>

- 研修会等への参加回数が増えるにしたがって、身元調査を容認する割合は減少し、「10回以上」では、身元調査を「すべきでない」の割合が65.7%になる。しかし、身元調査を「当然」と肯定する人は、参加回数との相関は認められない。

【質問5-1（身元調査〔結婚〕）と、質問7（研修会等の感想）との関連】

[質問7の内容]

人権・同和教育は、学校教育や社会教育で取り組まれています。

あなたは、これまでに参加された講演会や研修会、同和教育部落懇談会（小地域懇談会）などで、どのような感想をもたれましたか。あなたの考えに近いものを選んでください。（2つ以内）

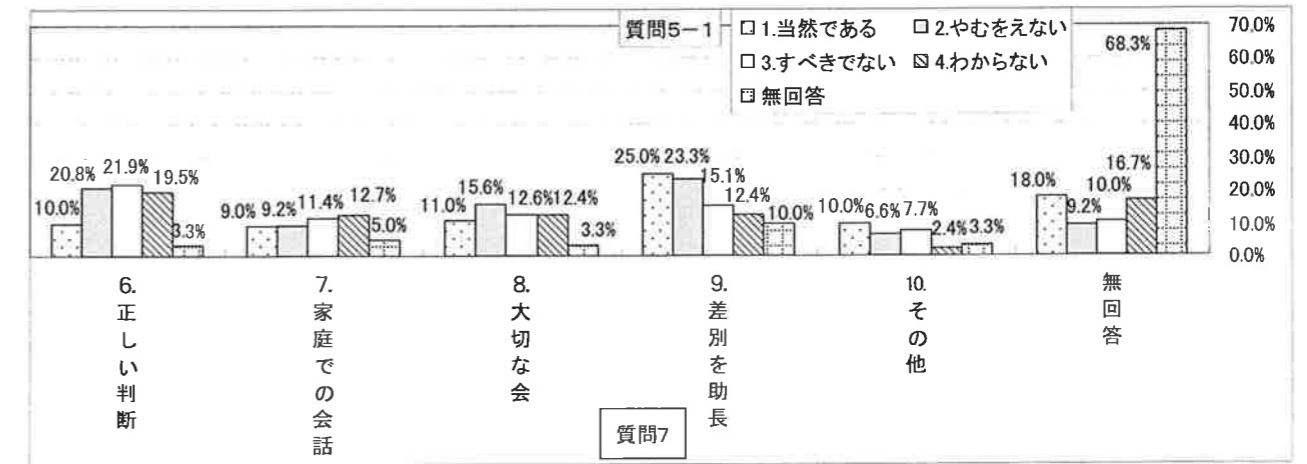
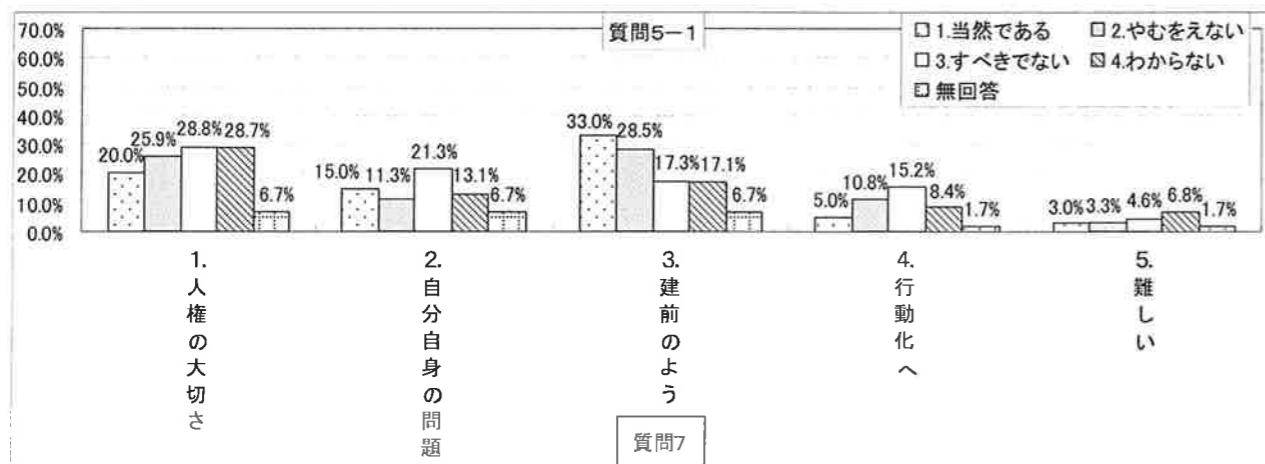
1. 自己的人権と同じように、他人の人権についても大切なことがわかった。
2. 人権問題は、自分の生活と深く関係があるとわかり、自分自身の問題として、これからも人権・同和教育の取り組みに参加したいと思う。
3. 建前のような内容が多いし、自分の生活とかけ離れていて、毎日の人間関係に活かすのは難しいと思う。
4. 部落問題を通して、生活の中での不合理な因習や迷信、さまざまな差別にも気づけるようになり、自分も何かしなければならぬと思う。

5. 話が難しく、よくわからなかった。
 6. 幼い頃からの取り組みを通して、人権意識を高めたり、さまざまな情報に対して、自分で考えたり、正しい判断ができるようになると思う。
 7. 出席することで、いろいろ気づくことが多くあり、子どもたちと家庭での会話が進んでもてるようになった。
 8. 個人同士や、部落での寄りあいなどで、人間の大切さや人権尊重について、あらたまって話し合うのは難しいので、同和教育部落懇談会（小地域懇談会）は大切な会だと思った。
 9. このような会をいつまでも続けることが、差別を助長させると思った。
- ※ その他

このクロス集計では、自分か参加した研修会等の感想について、身元調査に対する認識の違いによる感想の傾向をみた。

質問5-1	1 人権の大切さ		2 自分自身の問題		3 建前のように		4 行動化へ		5 難しい	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1. 当然である	20	20.0%	15	15.0%	33	33.0%	5	5.0%	3	3.0%
2. やむをえない	110	25.9%	48	11.3%	121	28.5%	46	10.8%	14	3.3%
3. すべきでない	195	28.8%	144	21.3%	117	17.3%	103	15.2%	31	4.6%
4. わからない	72	28.7%	33	13.1%	43	17.1%	21	8.4%	17	6.8%
無回答	4	6.7%	4	6.7%	4	6.7%	1	1.7%	1	1.7%

6 正しい判断		7 家庭での会話		8 大切な会		9 差別を助長		10 その他		無回答		回答者数
回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
10	10.0%	9	9.0%	11	11.0%	25	25.0%	10	10.0%	18	18.0%	100
88	20.8%	39	9.2%	66	15.6%	99	23.3%	28	6.6%	39	9.2%	424
148	21.9%	77	11.4%	85	12.6%	102	15.1%	52	7.7%	68	10.0%	677
49	19.5%	32	12.7%	31	12.4%	31	12.4%	6	2.4%	42	16.7%	251
2	3.3%	3	5.0%	2	3.3%	6	10.0%	2	3.3%	41	68.3%	60
											1,512	



<分析>

○ 身元調査を「すべきでない」とする否定派は、「当然」、「やむをえない」とする肯定派、容認派より、研修会等の感想について、「人権の大切さがわかった」、「自分自身の問題として取り組みたい」、「自分も何かしなければならぬ」、「人権意識を高めたり、正しい判断ができる」といった、価値的・態度的側面の項目の割合が高い。